特別
へ13
4271
8

特別
へ13
4271
7

特別
へ13
4271
7

ヘ13
427
7

加賀屋八犬傳

四編

全四冊

上

春水作

國芳画

文濱堂梓

91-2250

假名讀八犬傳四編序

勸善懲惡の千店ハ仁義八行の切賣ハ嘘八百ハ正札附めく他ハ掛直ハ為めのうそまことを見ぬ作者乃新廓看官ゞの乃貝と原傳の光り残笠ハ着く身のゝどゝゝぬ向ふ見を暗夜の鉄炮當もなくむやうに書く申ハ春その新版の初編ゝゝ二編三編おひゝくゝふ綴り合せくまゝゝぎの今ゝ後を次輯ハ鳥許ゞ四編さうゝゝゝ是も身すぎと夜をこめて机ハ筆我ゝゝが鳴暁ハ鐘用ゝ記を

干時嘉永二年初春新刻

爲永春水

經營百事費精神
玉兎交時當得意
南北奔馳運未新
恰如枯木再逢春
大塚邑の莊客
犬川衛二則任

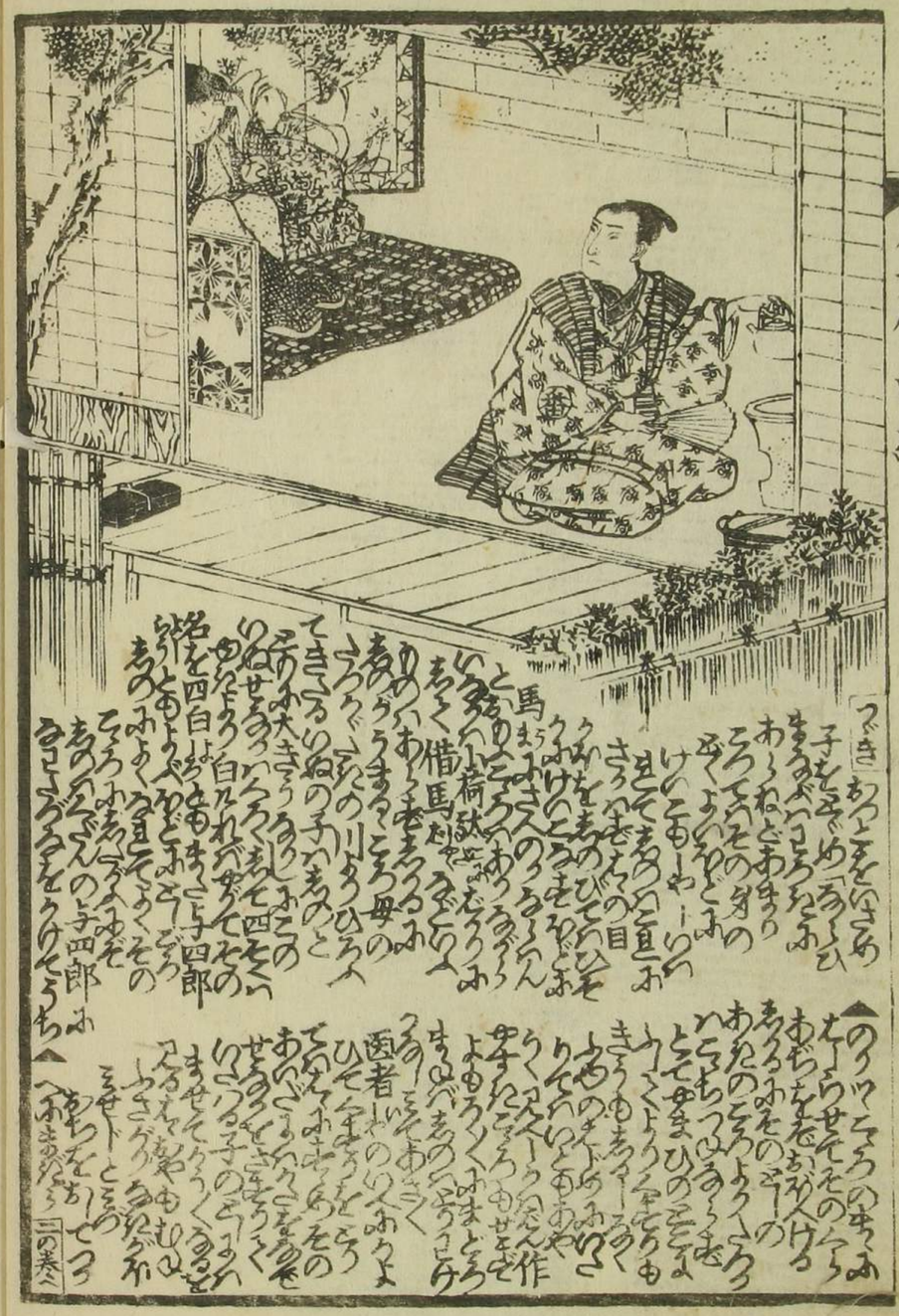
犬川衛二の渾家
糠助

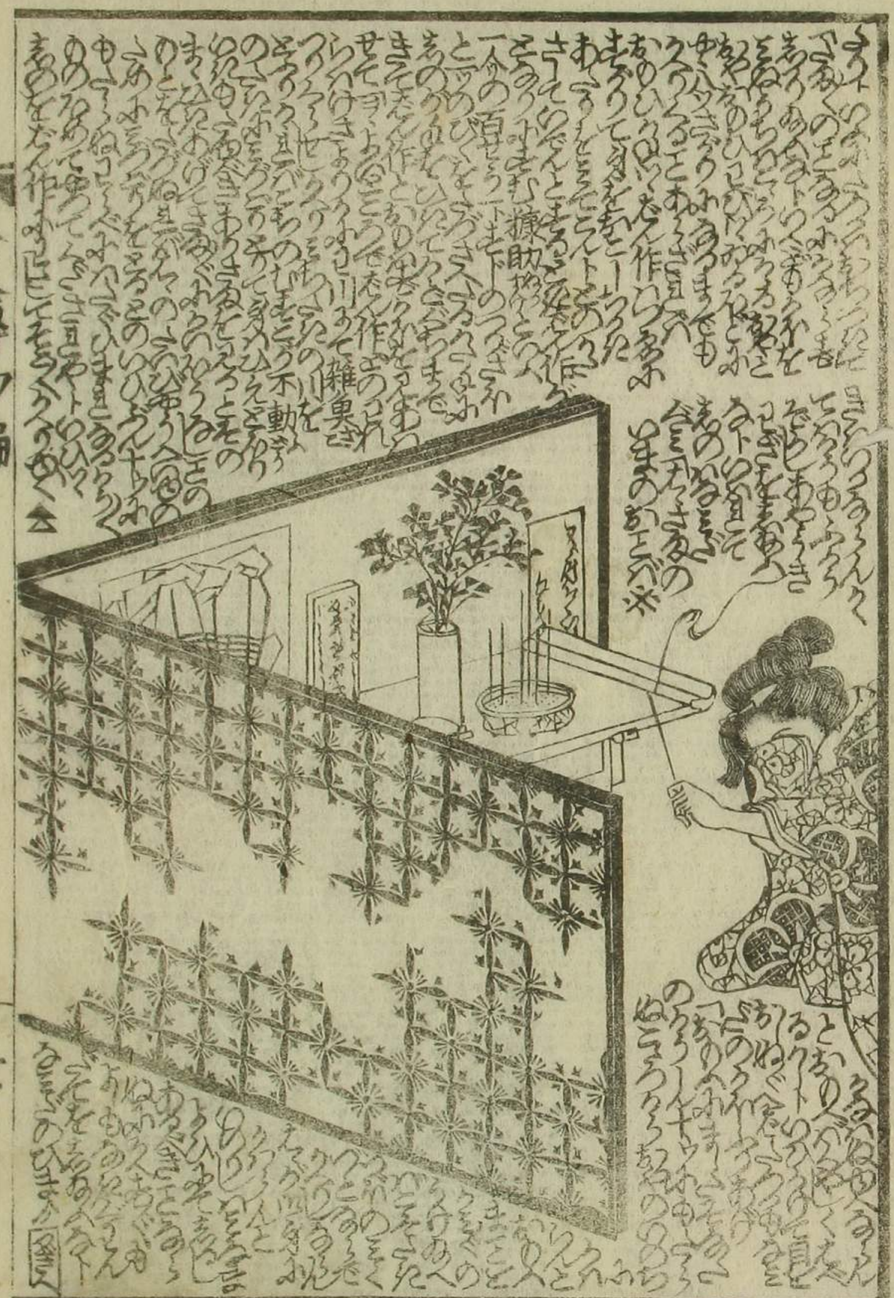
犬傳四編
再出
犬塚信乃
戌孝

犬傳四編
再出
濱路

番
た

信





信

棟

七夕詩歌集　松亭主人撰　静齋英一画　全一冊
永壽百人一首　中形本一冊
古狀餘師　中形本一冊
庭訓繪抄　中形本一冊
俳諧漫画　爲永春水撰　一筆斎英泉画
文溪堂　大傳馬町貳丁目　丁子屋平兵衛版

世間
右
出

加賀藩八犬傳

四編下

著作 水滸

國芳画

特別
へ13
4271
8

へ13
4271
8

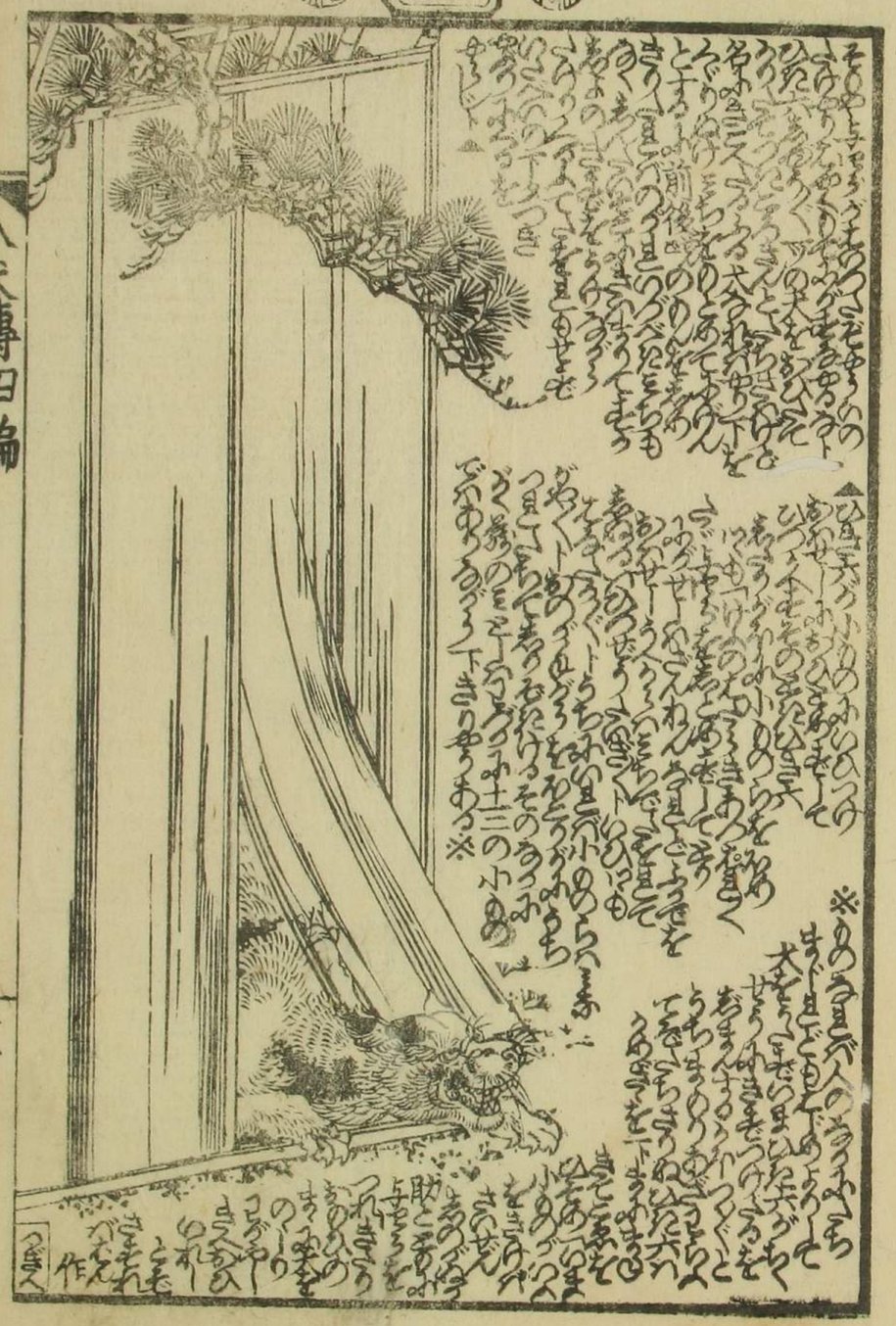
南総里見八犬傳

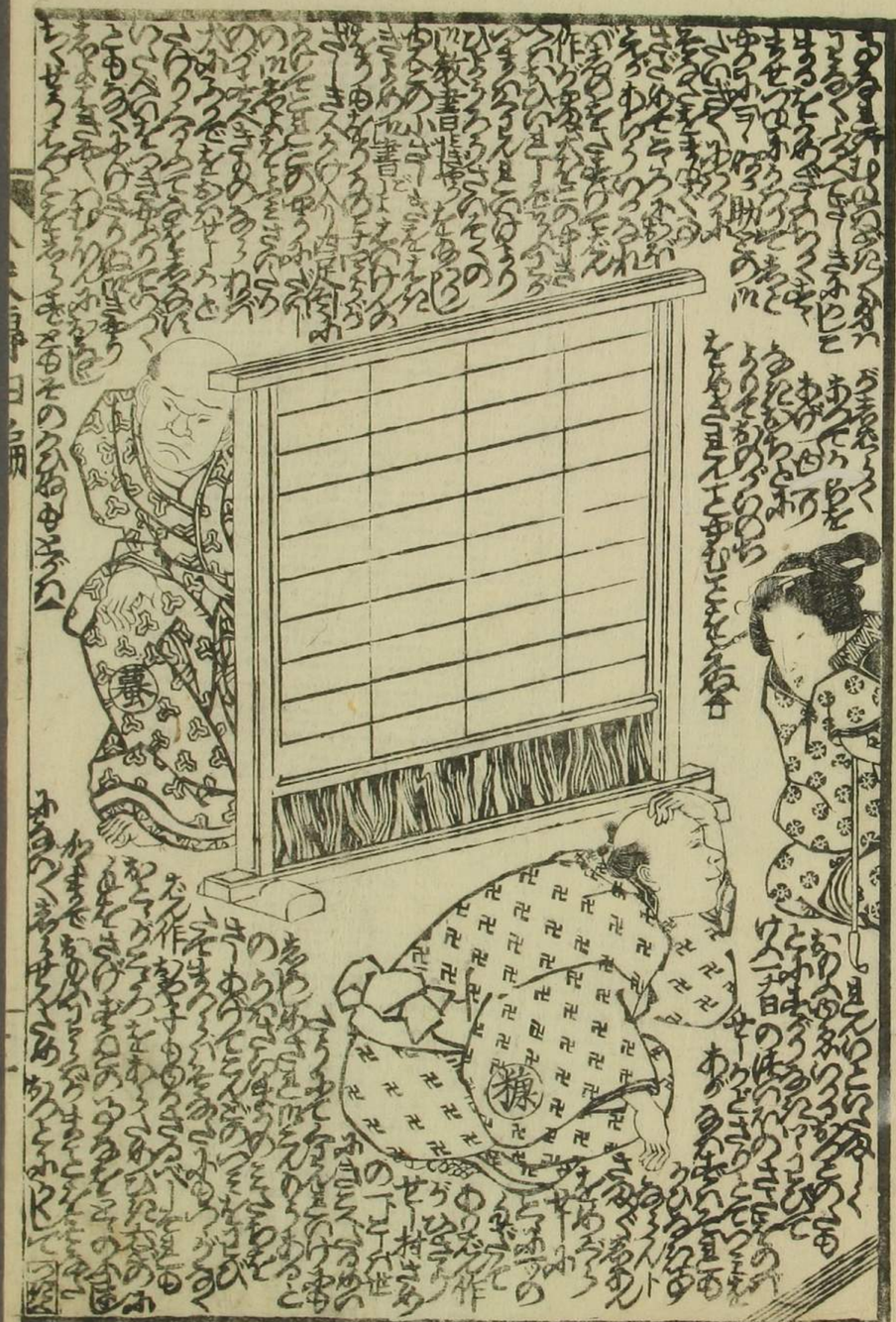
四編下

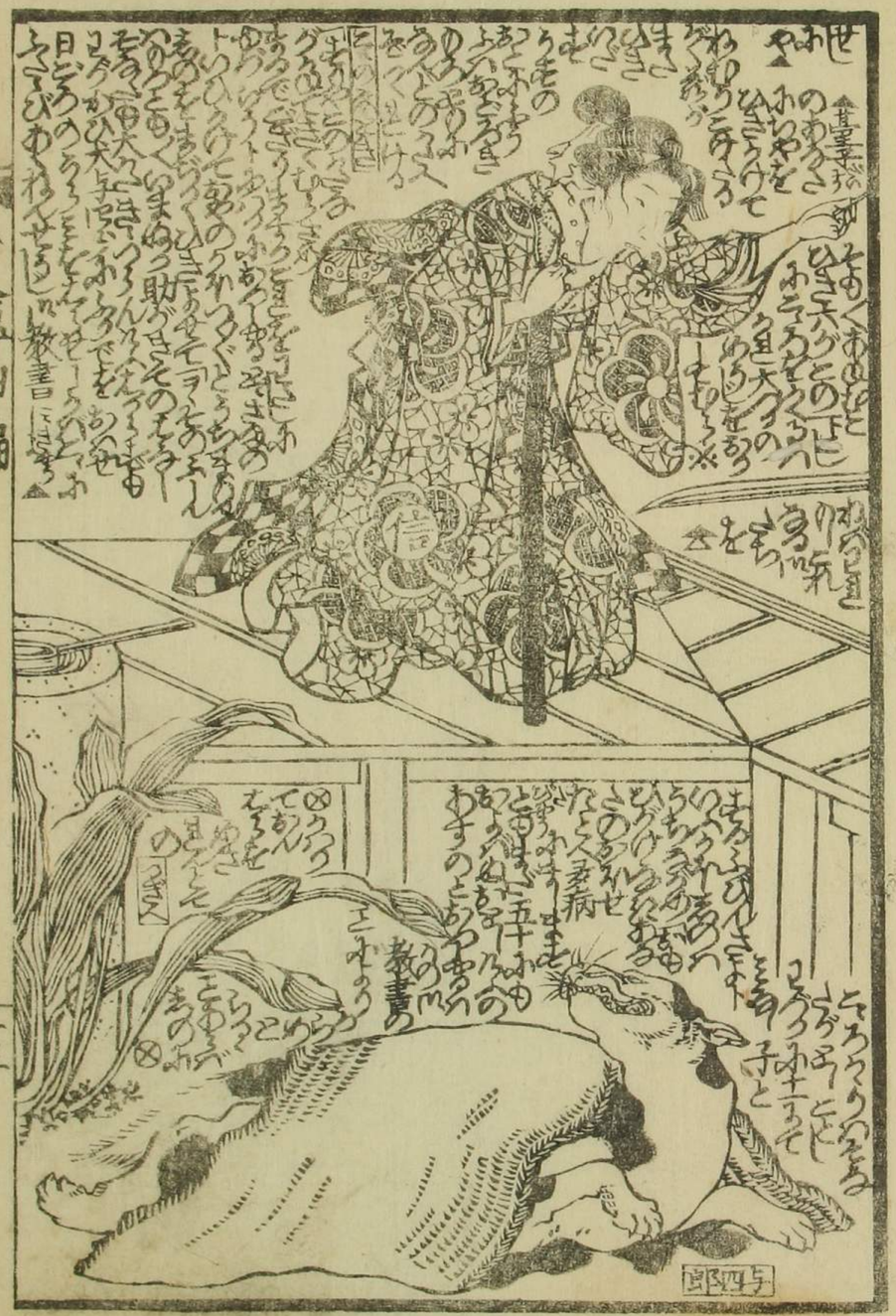
文濱堂梓

國芳畫

91-2251







棟
信

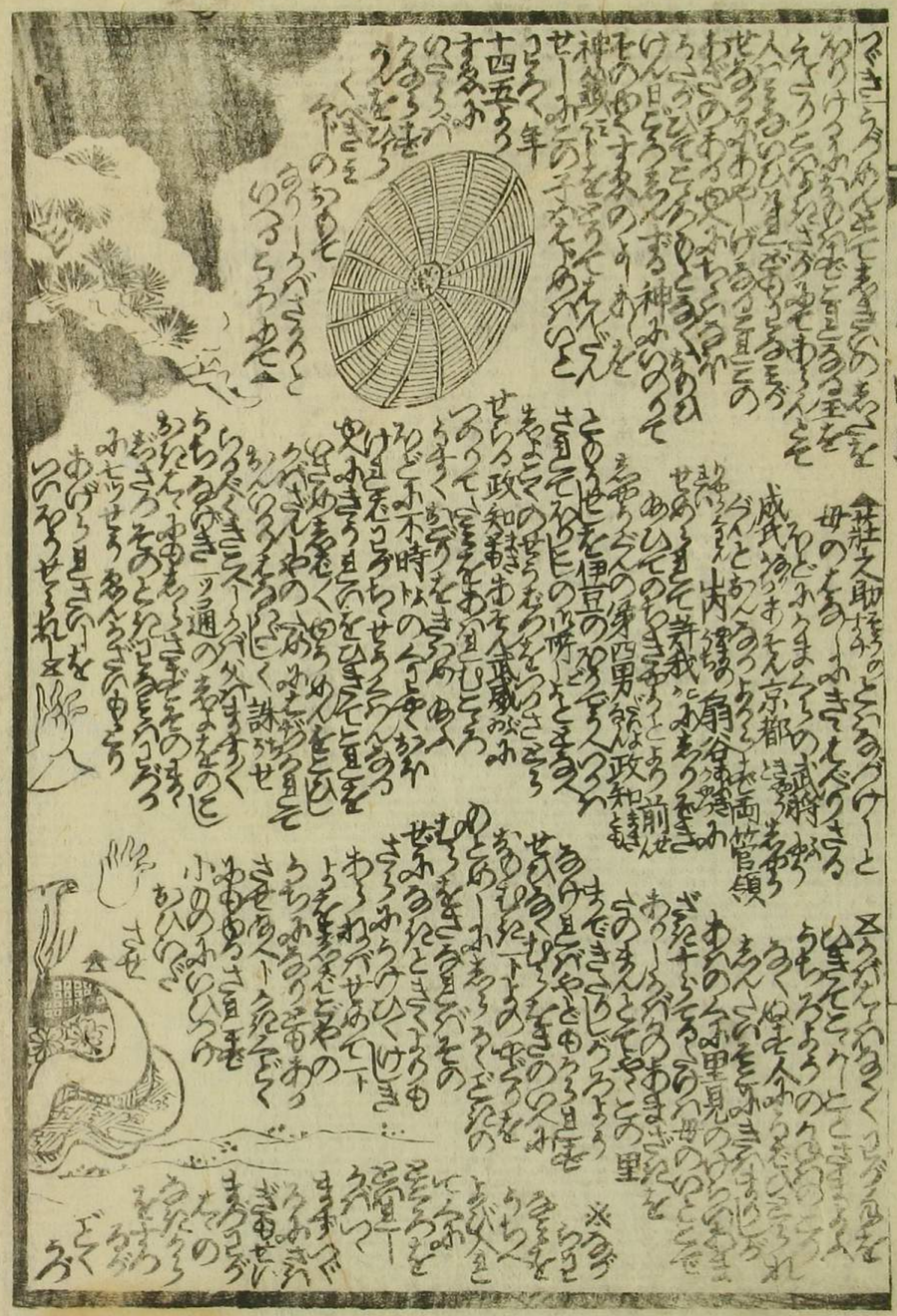
蟇
亀

頭

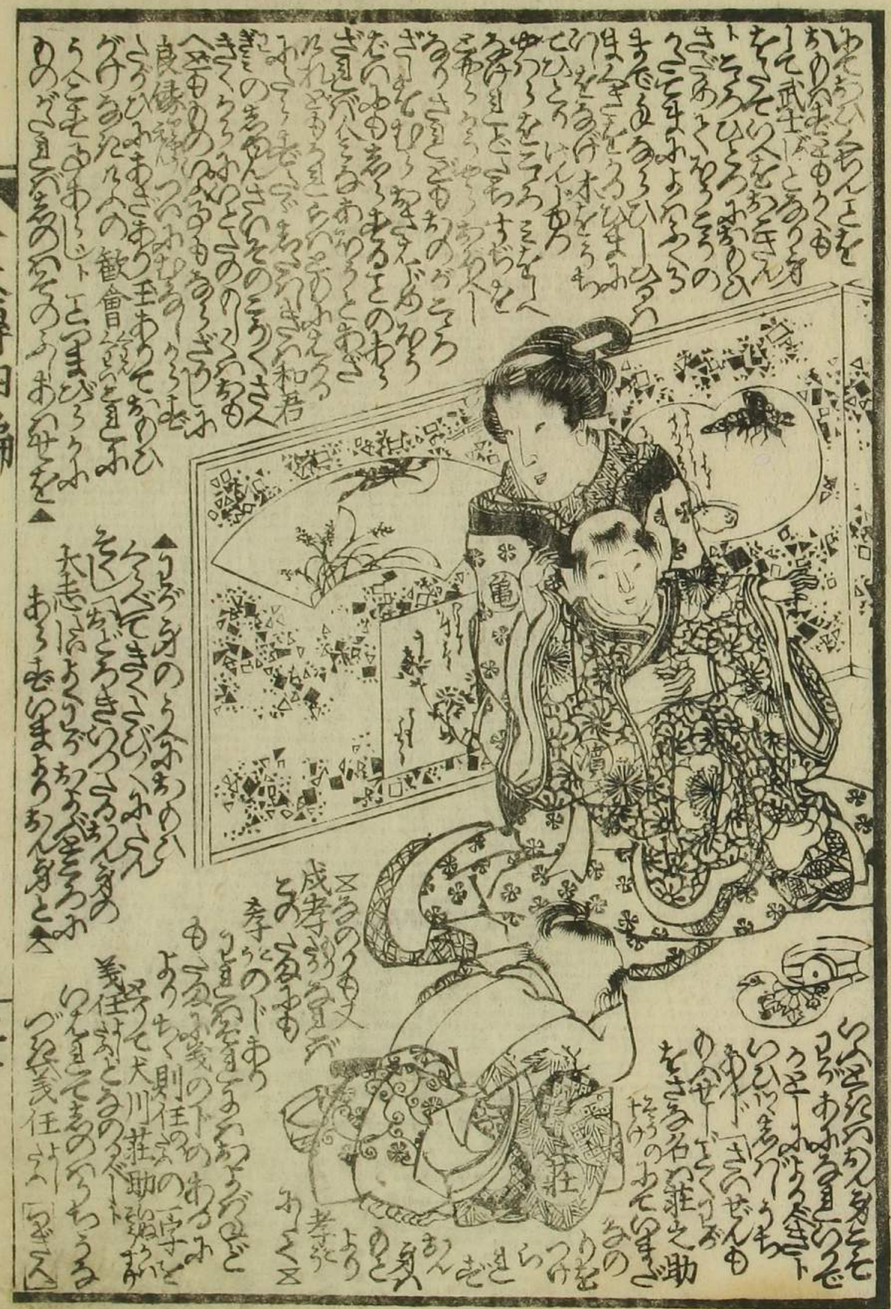
信

信

額



母
拉



烏水春水作　一勇齋國芳画

つぎ　のつとも　きろくべー
人ゆだろうなぐ　ぎとよびも
せんよんと　ひとのトいなおわろ
そとうもろ　ろまて　ぞまて
のちろんの　ゆをセ
ちのうへ
ろん　ゑと
とろうべ　ゆをさ
すぞろ　まをむ
をきろ　ろひそ
むろ　ゑんゑ
ゑろ　ゑをあご
ろろの　ゑうを
ゑん　ゑをそ　ろろど
さまを　ゑをど　も
ちろう　ゑを　ぐひみ
ちしろ　まむろ　ゑんこを　ゑをみ
きしし　ゆをの　ゑさの　ゆをうく
いろを　ゑ大を　ろろせー　ゑきぬう　助ぐ
うあざ　ゑみも　ろさゑ　そろうし　ろゑま
ゑき　大ぐ　いゑろ　ことを　ゑまひ　ろうゑつ　ぐ
ゑろせ　「その　ときこ　ろうこ　ろのの　ゑまそ
そろ　ゑわ　ろうて　をろう　のせん　げさし　ゑを
ちぐき　こゑ　人を　ろろの　ゑのの　ゑんゑ
ゑひう　ゑろの　ゑのく　ふゑぐ　わろん　なゑる
ゑぐろ　ろあ　ゑゆま　ひふろ　こうて　ゑこま　ぐ
ろのや　へうゑ　ぐへー　ゑん　ゑゆも　ゑ三五　ゑゆも　ゑぐ

ゑろ　ゑゆく　ゑをこ　ゑれゑ　ゑを
ゑのせ　ゑのく　ゑのよ　ゑのゑ
ゑろう　くゑ　ゑひゑ　ゑろう　ゑくゑ
ゑゑも　ゑどよ　りゑる　ゑゑ　助ぐ
そのわ　ゑをゑ　ゑゑゑ　ゑを

浄書　金交

ゑろう　ゑゑを
ゑをゑ　ゑめる

酒毒を解き

梅乃雪

酒、能機活運動を助け精を発し最上とされる席わたり勤酒を飲過し夕べの酔今日に至り今日の酒又晨ふ及ぶ宿酒酔の頭痛鉢巻の時此茶を用ゆ春の雪解るごとく速に酒毒を消す妙薬

代七十二銅

昔を恐ぶ梅の薫も更ふ白袋の代とみる世間小粉の紅精製極品の白顔の果化粧の水夏日ふけ出ぬ白粉のように肌目を整ひ美しく

花梅

化粧水

代六十四銅

懐中重宝

玉艶素

早化粧

婦人方嬢方必勿論居見の白粉山の白粉懐中あたべ〳〵臭ぐ香りは色を白くきれば其まむ高を落化粧と多紙へ極上裏のおろしを漉こそ紙のうの白を付（生玉堂の品）一貼代四八銅

江戸賣弘所　大傳馬町二丁目　文溪堂丁子屋平兵衛

水戸御免 日本一家 小児司命丸 十粒入二百五十八銅 一粒二十五銭

此薬は小児虫癪より一日ふ一つより三度さめを用ひ八才より後は二才より十歳迄
お薬ふ用ゆ時は胎毒を解し出風かるく疱瘡軽く成る効〜寿前産後かの也〜

御免 かんの薬 名の王賈保赤圓 一包二百銅 半包百銅 小包五十銅

大和門司法橋製

たんの薬 順胸散 一貼代百二十四銅

此薬は男女大人小児とも老ふ於の色すくく年久しく煩ふとの子も後薬を用ひ功あり

元祖 順補丸 小半剤入價百二十四銅

此薬は男女大人小児とも老ふ於の色すくく年久しく煩ふとの子も後薬を用ひ功あり
してよろしかるべき也 婦人月水とどこり血のめぐりとろく時人月水とどこり血のめぐりとろく
是ふの症ふ用ひて生き者ふ全快也 弘所 上之山町三丁目 大坂屋半藏

取次所 大傳馬町二丁目 丁子屋平兵衛

近世説美少年録十五冊 曲亭馬琴作 溪齋英泉画

美少年録次編 玉石童子訓 初編〜六編迄 曲亭馬琴作 岩来 七編近刻 歌川豊國画

商人用文章 中形本 一冊

日用重法 萬代節用集 中本 一冊

いきるなり 梅の雪 一包代七十二孔

はかやの しなり水 花橘 びいどろ くくり入 六十四孔

玉艶紙 一名化粧ぐみ 代四十八孔

かんの しなり 大人小児老ふ 也用茶あり

文溪堂 大傳馬町貳丁目 丁子屋平兵衛版

あらみ
小川
大
侍四郎
春水作
國芳画
文溪堂